SONY®

2-684-485-01(1)

ポータブル CD/DVDプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DVP-FX810

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながる危険があります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2〜9ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。14〜16ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みはないか、ACアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使っていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACアダプターが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら

1 電源を切る
2 ACアダプターをコンセントから抜くか、バッテリーをはずす
3 お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指挟み

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

分解禁止

行為を指示する記号

強制

プラグをコンセントから抜く

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となる

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

分解や改造をしない

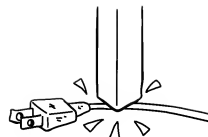
火災や感電、けがの原因となることがあります。特に、本機に使われているレーザー光が目にあたると危険です。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となる

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

付属以外のACアダプターや指定以外のカーアダプターを使わない

火災や感電の原因となります。

液晶画面を長時間続けて見ない

液晶画面を長時間続けて見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがある

ぬれた手でACアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

本体やACアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く

ふたに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがある

回転しているディスクにはさわらない

ディスクぶたを開けると、ディスクが回転していることがあります。
回転しているディスクにさわると、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

長期間使わないときは、電源をはずす

長期間使用しないときはACアダプターやバッテリーをはずして保存してください。火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

通電中、本体やACアダプター、バッテリーに長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがある

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

本機の上に重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れてけがの原因となることがあります。

液晶パネルを強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

バッテリーパックについての安全上のご注意 漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

本機以外で充電しない

禁止

火の中に入れない、ショートさせたり、分解しない、電子レンジやオーブンで加熱しない

禁止

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
また、コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。

⚠警告

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない

禁止

危険防止の保護回路が壊れることがあります。

ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりして、強い衝撃を与えない

禁止

⚠注意

長期間使用しないときは、バッテリーパックを取りはずす

強制

バッテリーパックを取り付けたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

濡れた手でさわらない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRC
ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照して下さい。

電池についての安全上のご注意 漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

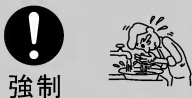
アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない
アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

接触禁止

必ず次の処理をする

→ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

強制

→ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

→ 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

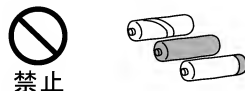
禁止

⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

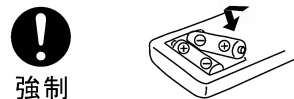
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

→ 電池の品番を確かめ、お使いください。

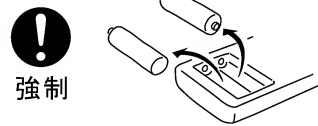
禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

→ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

強制

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となる。

強制

この取扱説明書について

- この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。

- この取扱い説明書では、右記の記号を使っています。

  操作中に液晶画面に“ ⊘ ”が表示される場合があります。この記号は、この取扱い説明書で説明されている機能がその DVD ビデオディスクで利用できないことを意味します。

記号	説明
DVD-V	DVDビデオ、DVD-RW/DVD-R(ビデオモード)、DVD+RW/DVD+Rで使える機能
DVD-RW	DVD-R/DVD-RW(VRモード)で使える機能
CD	音楽用CD、音楽用CDフォーマットのCD-R/CD-RWで使える機能
MP3 JPEG	データディスク (MP3* 音声トラックと JPEG 画像ファイルを含むディスク で使える機能*

* MPEG 1 Audio Layer Ⅲ :MPEGとIEC/ISO によって規定された音声デジタル圧縮規格のひとつ。

再生できるディスクについて

ディスク形式	
DVD VIDEO	DVD VIDEO
DVD-RW/-R	DVD RW / DVD R R47
DVD+RW/+R	RW DVD+ReWritable / RW DVD+R / RW DVD+R DL
音楽用 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-RW/-R	COMPACT disc ReWritable / COMPACT disc Recordable

“DVD+RW” “DVD-RW” “DVD+R” “DVD-R” “DVD ビデオ” “CD” “CD-RW” “CD-R” のロゴは商標です。

ディスク関連の用語

DVD VIDEO
CD/CD-ROMと同じ直径(12cm)で動画/音声が記録されているディスクです。ディスクによっては、メニュー及びマルチ音声/字幕/アングルが記録されており多彩な楽しみ方ができます。このディスクには録画などはできません。

DVD-RW/-R
DVD-RW/-RはDVDビデオと同じサイズで、記録することができるディスクです。さらに、DVD-RWは書き換えることもできます。
DVD-RW/-R には、ビデオモード、VRモードという 2 つの記録モードがあります。
ビデオモードは、DVD ビデオフォーマットと互換性があるモードです。
VR(ビデオレコーディング)モードは、ビデオモードではできない様々な編集や録画が可能です。

DVD+RW/+R
DVD+RW/+RはDVDビデオと同じサイズで、記録することができるディスクです。さらに、DVD+RWは書き換えることもできます。
DVD+RW は、DVD ビデオフォーマットと互換性のとれる記録方式を採用しています。

MP3

MP3は、CD品質に近い音声圧縮方式です。

JPEG

Joint Pictures Expert Group。JPEGは、静止画像データの圧縮方式の一つ。

当製品はDolbyラボラトリーズのライセンスに準じて製造されています。「Dolby」、「Pro Logic」、およびダブル D シンボルは Dolby ラボラトリーズ の登録商標です。

ご注意:

- ディスクの記録状態によって、当機で再生できない場合があります。
- DVD+R DL/-R DL(ダブルレイヤー)の2層目に記録されたMP3及びJPEGを再生することはできません。
- -VRモードで記録されたDVD-RDLディスクは再生することはできません。
- パケット形式で書き込まれたCD-R/RW (DVD±R/±RW)を再生することはできません。
- マルチセッションで書き込まれたCD-R/RW は、再生することができない場合があります。
- UDFファイルシステムで書き込まれたCD-R/RWのファイル名を正しく表示することができません。
- レコーダー等で記録されたDVD-RW/-R、DVD+Rを当機で再生するにはファイナライズする必要があります。
  ファイナライズしていないディスクを再生することはできません。

メモ:

8cmサイズのDVDディスクを再生することができます。

地域番号(リージョンコード)について

著作権保護を目的に設けられた制度です。DVD ビデオのパッケージには販売地域によって、地域番号が表示されています。地域番号に「ALL」または「2」が含まれているとき、本機で再生可能です。

DualDisc についてのご注意

DualDisc とはDVD 規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

DVD再生操作について

DVD再生時の操作上のご注意

DVDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

著作権について

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許上の方法クレーム及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバースエンジニアリングまたは分解は禁止されています。

ディスクの取り扱い上のご注意

取り扱いかた

- 再生面に手を触れないように持ちます。
- 紙やシールを貼らないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのまま本機にかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

保存のしかた

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねたり、立てかけておくと変形の原因になります。

お手入れのしかた

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽くふきます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布でふいた後、さらに乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください

特殊な形状のディスクについて

- 本機でお使いいただける音楽CDは円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状(星形、ハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

目次

はじめに

基本の操作

いろいろな使い方

設定

接続

その他

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。

（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）

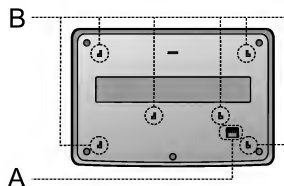
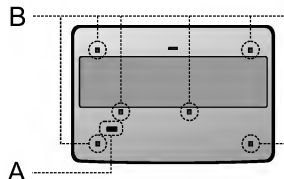
液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。
- 液晶ディスプレイの表面を濡れたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイに物をの載たり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- 本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、液晶ディスプレイに結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパー等をお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。

ACアダプターはコンセントの近くでお使いください。
本機をご使用中、不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

機器を水滴のかかる場所に置かないでください。
及び水の入った物、花瓶等を機器の上に置かないでください。

本体底面について

- バッテリー接続端子(図のA)およびバッテリー用ガイド穴(図のB)に、ゴミや砂などの異物が入らないように注意してください。

- バッテリーパックについて
- ⊕と⊖の端子(図のA)をネックレスなどの金属類でショート(短絡)させないでください
- ⊕と⊖の端子(図のA)およびガイド用ツメ(図のB)に、ゴミや砂などの異物が入らないように注意してください。
- 高温になった車の中や炎天下など、60 ℃以上になる所に放置しないでください。
- 水に濡らさないでください。

ACアダプターについて

- 本機には、付属のACアダプターをご使用ください。指定以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACアダプターを海外旅行者用の電子式変圧器などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。

音量を調節するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調節すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。演奏を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再度電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

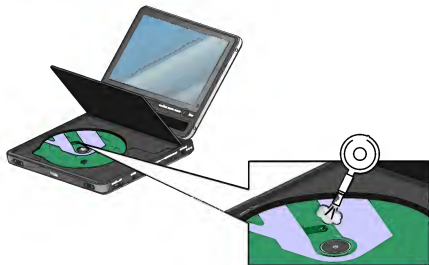
本体のお手入れのしかた

- キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。
- 液晶ディスプレイは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。

ご注意:

- 濡れたもので液晶ディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

レンズのお手入れについて

画像が乱れたり、音飛びをするときは、レンズにゴミやほこりがたまっている場合があります。このときは、市販のカメラレンズ用のブロワーブラシで、レンズのクリーニングをしてください。クリーニングをするときは、レンズに直接触れないようご注意ください。
レンズ用のクリーニングディスクやディスククリーナー(湿式またはスプレー式)は、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

DVDメニューやタイトルメニュー、本機の設定画面などの静止画を液晶画面またはテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象(画像の焼きつき)を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象(画像の焼きつき)が起こりやすいのでご注意ください。

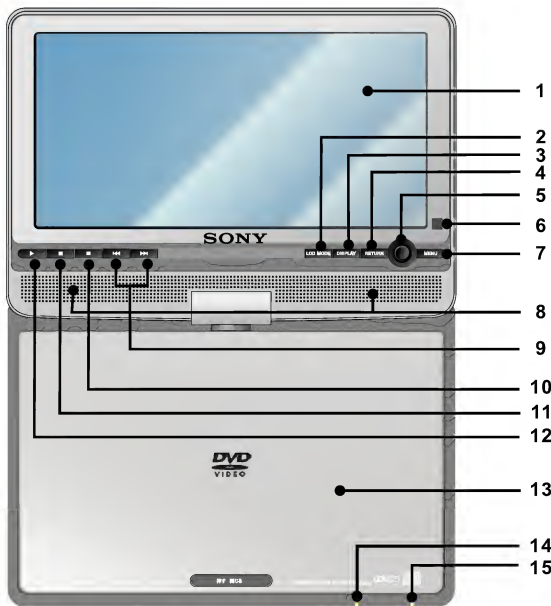
付属品のご確認

次の付属品がそろっているかを確認してください。

- 映像音声コード（ミニプラグ×2、ピンプラグ×3）（1）
- ACアダプターAC-FX110（1）
- 電源コード（1）
- カーアダプターDCC-FX110（1）
- バッテリーパックNP-FX110（1）
- リモコン RMT-D182J（1）
- 単3形乾電池（R6）（2）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- 保証書（1）

もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

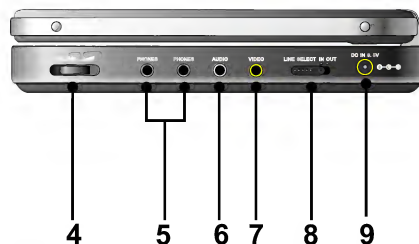
各部のなまえ

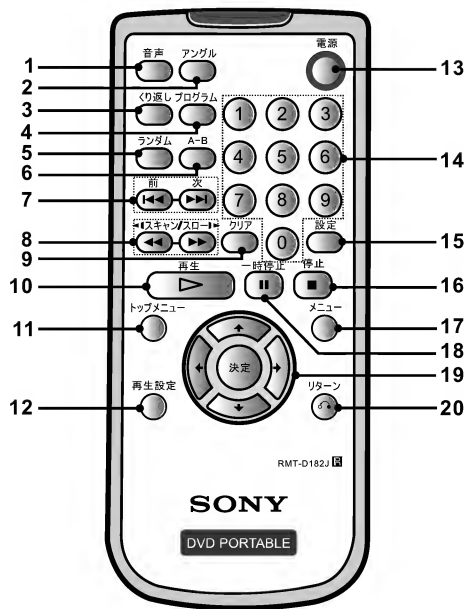
本体

1.液晶ディスプレイ画面 (22 ページ)
2.LCDモードボタン[LCD MODE] (27~28 ページ)
3.再生設定ボタン[DISPLAY] (31 ページ)
4.リターンボタン[RETURN] (31 ページ)
5.←/↑/↓/→ ボタン、決定ボタン (32 ページ)
DVDのメニュー画面等で項目を選択するときに使用します。
DVDディスクを再生時、←/→ ボタンはスキャン/スローボタンとして働きます。決定ボタンは再生ボタンとして働きます。
ご注意:
DVDディスクのメニューによっては、←/→ ボタンが正常に動作しないことがあります。
この時はリモコンの ←/→ ボタンを使用してください。
6.リモコン受光部 (21 ページ)
7.メニューボタン[MENU] (32 ページ)
8.スピーカー
9.⏮/⏭ (前/次)ボタン (32 ページ)
10. ■ (停止)ボタン (29 ページ)
11. ॥ (一時停止)ボタン (29 ページ)
12. ►(再生)ボタン (26 ページ)
13.ディスクぶた (26 ページ)
14.充電インジケーター (25 ページ)
充電中:オレンジ色点灯
15.電源インジケーター (26 ページ)
電源オン:緑点灯
電源オフ:緑消灯

各部のなまえ(続き)

1. オープンつまみ[OPEN]
2. リモコン受光部 (21 ページ)
3. 電源/ホールドつまみ (26 ページ)

本体ボタンの誤動作を防ぐ

- ホールドつまみを左にスライドさせることで本体のボタン操作を無効にすることができます。(ホールド機能)
  ホールドを設定しても、リモコンでは操作できます。

4. 音量つまみ[VOLUME] (26 ページ)
5. ヘッドフォンジャック 1,2 [PHONES]
6. オーディオ入出力ジャック[AUDIO] (46 ページ)
7. ビデオ入出力ジャック[VIDEO] (46 ページ)
8. ライン入力/出力切換えつまみ
   [LINE SELECT IN/OUT] (46 ページ)
9. AC アダプター入力ジャック[DC IN 9.5V] (23 ページ)

リモコン

1. 音声ボタン (33 ページ)
2. アングルボタン (33 ページ)
3. くり返しボタン (34 ページ)
4. プログラム再生ボタン (38~39 ページ)
5. ランダム再生ボタン (39 ページ)
6. A-Bボタン (34 ページ)
7. ⏮ / ⏭ (前/次)ボタン (32 ページ)
8. ◀◀ / ▶▶ (スキャン/スロー)ボタン (29~30 ページ)
9. クリアボタン (44 ページ)
10. ▷ (再生)ボタン (26 ページ)
11. トップメニューボタン (32 ページ)
12. 再生設定ボタン (31 ページ)
    (本体の [DISPLAY] ボタンと同じ機能)
13. 電源ボタン
14. 数字ボタン
15. 設定ボタン (42 ~ 45 ページ)
16. ■ (停止)ボタン (29 ページ)
17. メニューボタン (32 ページ)
18. II (一時停止)ボタン (29 ページ)
19. ← / ↑ / ↓ / → ボタン、決定ボタン (32 ページ)
    DVDのメニュー画面等で項目を選択する時に使用します。
20. ↶ (リターン)ボタン (31 ページ)

リモコンについて

リモコンに電池をセットする

⊕と⊖の向きを合わせて、単3形乾電池(R6、付属)2個を入れる。

ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

  1. ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
  2. 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  3. 乾電池は充電しないでください。
  4. 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  5. 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

液晶パネルについて

液晶パネルの回転機能

本機の液晶パネルは時計回りに最大180度回転して使用することができます。回転後本体の上に液晶パネルを折りたたんで、本機を操作することもできます。

液晶パネルの回転

1.本機をテーブルなどの平らで安定した場所に置きます。

2.親指で液晶パネルを押し上げて垂直の位置になるまで開きます。(図1 を参照。)

3.液晶パネルをゆっくりと矢印の方向 (時計回り) に180度回転します。(図2 を参照。)

図1　図2　図3

ご注意 :

● 液晶パネルを180度以上回転させないでください。また反対方向へ回転させないでください。液晶パネルが破損します。

● 液晶パネルを開ききっていないときは、回転させないでください。液晶パネルが傷つく場合があります。

液晶パネルを回転して折り重ねる

液晶パネルを時計回りに180度回転した後で、本体の上に液晶パネルを押し倒します。その位置でパネルは上向きになります。(図3 を参照。)

液晶パネルを元の位置に戻す

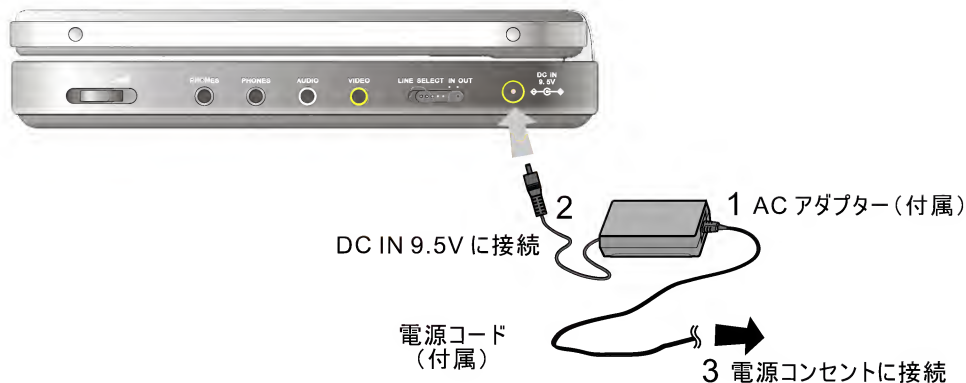
1.液晶パネルを垂直の位置まで開きます。

2.液晶パネルをゆっくりと反時計回りに回転します。

ご注意:

● ご使用後は、液晶パネルを元の位置に戻してください。突然の衝撃などによって液晶パネルを傷つける場合があります。

ACアダプターをつなぐ

以下の手順 1 ～ 3 に従って接続してください。
取り外す場合は逆の手順で操作します。

ご注意:

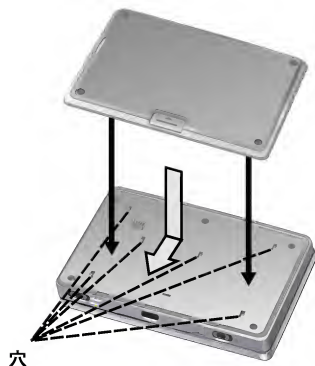
- 電源プラグを抜くときは、再生を止めてください。再生中に電源プラグを抜くと、故障の原因となることがあります。

バッテリーで使う

電源コンセントが利用できない場合は、バッテリーパック(付属)を装着して本機を使用することができます。

- ご使用前にバッテリーパックを充電してください。

■ バッテリーパックを取り付ける

1. 本機底面の穴にバッテリーパックのツメをあわせます。
2. バッテリーパックを矢印の方向にカチッと音がするまでずらします。

ご注意:

- バッテリーパックを取り付けるときは、本機の電源を切ってください。
- 本機およびバッテリーの接続端子にさわらないでください。故障の原因となることがあります。

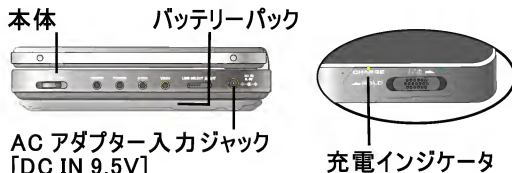
■ バッテリーパックを取りはずす

1. リリースつまみをスライドしてください。
2. フックがカチッと音がするまでバッテリーパックを矢印の方向にスライドさせます。

ご注意:

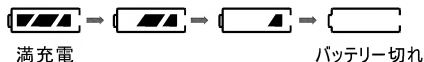
- 再生中にバッテリーパックをはずさないでください。
- バッテリーパックを落とさないようにご注意ください。

■ バッテリーパックを充電する

1. バッテリーパックを取り付けます。
2. AC アダプターを接続し、電源コンセントに差し込みます。

3. 充電が開始されると、充電インジケーターが点灯します。
4. 充電が終了すると、充電インジケーターが消灯します。
5. 充電完了後、ACアダプターを取りはずし、電源コンセントからプラグを抜きます。

■ バッテリーの残量を確認する

停止中、液晶画面にバッテリーマークが表示されます。
「 」が表示されるか、充電インジケーターが点滅したら、バッテリーを充電してください。

満充電　→　→　→　バッテリー切れ

DVDまたはJPEG再生中にはバッテリーマークは表示されません。再生を停止してバッテリー残量を確認してください。

■ 充電時間と再生時間

充電時間(電源オフ時)	再生時間(LCDオン時)
約 5 時間 30 分	約 6 時間*

*次の条件における、常温(20℃)での連続再生の最長の目安です。
バッテリーの状態により、使用時間は短くなることがあります。
-ヘッドホン使用
-バックライトの調整を最小に設定

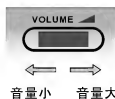
ご注意:

- ACアダプター使用時やライン入力時は、液晶画面にバッテリーマークは表示されません。
- 上記で表示されている充電時間は、使用状況や環境などにより異なります。
- 周囲の温度が10〜30℃の範囲で、満充電まで充電することをおすすめします。
- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時期が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。

ディスクの再生

本体のLINE SELECTスイッチを「OUT」にしておいてください。

－ACアダプターを接続、またはバッテリーパックを装着します。

1.液晶パネルを開きます。
2.本体の電源スイッチを右側にスライドして電源をONにします。
　電源インジケーターが緑色に点灯します。
3.オープンつまみを左側にスライドしてディスクぶたを開きます。
4.再生するディスクをはめ込みます。
　ディスクのラベルを上にして、カチッと音がするまで静かにはめ込みます。
5.「PUSH CLOSE」部を押してディスクぶたを閉じます。
　・ディスクのラベル面を下にしてセットした場合は、「ディスクなし」か「チェックディスク」と画面に表示されます。
6.[再生]を押して再生を開始します。
　・自動で再生が始まる場合もあります。
　・全てのタイトルの再生が終了すると、本機は自動的に停止しメニュー画面に戻ります。
7.音量を調整します。
　・本体右側面の音量つまみでお好みの音量に調整してください。

本機使用後はディスクを取り出して、電源スイッチを右にスライドし、電源をオフにしてください。

メニュー画面が表示される場合 DVD-V

DVDディスクによっては、メニュー画面が表示されることがあります。

←/↑/↓/→ で項目を選択して決定を押す、または数字ボタンを押して、項目を選択します。

詳細は、再生するディスクのジャケットや説明書、等を参照してください。

メモ：

- [LCD MODE] ボタンを押して、液晶画面に表示される映像の大きさを調整できます。
- 本機の視聴制限が設定されている状態で、視聴制限付きディスクを再生する場合は、パスワードを入力する必要があります。
  詳細は44~45ページの視聴制限を参照してください。
- DVDディスクは地域番号（リージョンコード）が設定されていることがあります。
  本機は地域番号「2」または「ALL」のディスクを再生できます。

■ 画面サイズの変更

[LCD MODE] ボタンを使用して画面サイズを変更します。

[LCD MODE]ボタンを押した後、「LCDアスペクト」を選択し決定します。以下のそれぞれのディスクにおいて、画面サイズが選択できます。

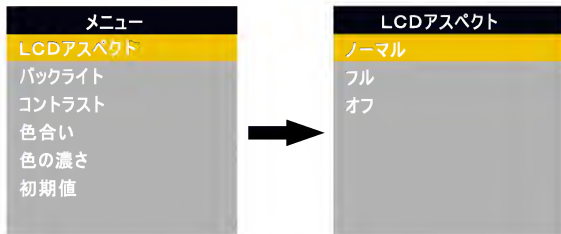
DVD ディスク

ノーマル、フル、オフ

オーディオ CD/ MP3 ディスク/ JPEG ディスク(メニュー)

オフ

JPEG ディスク (スライドショー)

ノーマル、フル 、 オフ

メモ :

- DVDディスク再生時、選択できる画面サイズは再生しているディスクによって異なります。
- 「16:9」で記録されたディスクを再生時、[ノーマル]を選択することはできません。

■ 画面表示オフ時の復帰方法

画面表示を「オフ」時、画面表示を「オン」にするには[決定]または[LCD MODE]ボタンを押します。

メモ :

- 液晶パネルを閉じると、自動的に液晶画面はオフになります。
- 「ラインイン」モードでは、[LCD MODE]ボタンを押すことで[ノーマル]、[フル]が選択できます。

液晶画面の調整

[LCD MODE] ボタンを押してメニューを表示します。

1. バックライトの調整

[バックライト] を選択し、←/→ を押して明るさを調整します。

2. コントラストの調整

[コントラスト] を選択し、←/→ を押して明暗を調整します。

3. 色合いの調整

[色合い] を選択し、←/→ を押して赤と緑のバランスを調整します。

4. 色の濃さの調整

[色の濃さ] を選択し、←/→ を押して色の濃さを調整します。

5. 初期値

[初期値] を選択し、[決定] を押しと、各設定値を工場出荷時の値に戻します。

再生の停止

再生中に [停止] を押します。

ご注意:

ディスクぶたを開けた時に、ディスクがまだ回転している時はディスクに触れないでください。
ディスクの回転が停止してから、ディスクを取り外してください。

つづき再生

再生を止めたあと、液晶画面に「リジューム」が表示されると、本機は再生を止めたところを記録します。つぎに再生ボタンを押すとそのつづきから再生できます。ディスクぶたを開けない限り、本機の電源をオフしても、つづき再生は有効です。

メモ:

- つづき再生停止時、電源をオフし、次に電源をオンした時はつづき再生停止箇所から自動的に再生が開始されます。
- つづき再生を終了するには:
  つづき再生停止中に再度[停止]ボタンを押します。
  電源がオン時、ディスクぶたを開きます。
- −VRモードディスクは電源をオフするとつづき再生が終了します。

一時停止

1. 再生中に [一時停止] を押します。

一時停止を終了するには[再生]または[一時停止]を押します。

サーチ DVD-V DVD-RW

1. 再生中に [スキャン/スロー] ◀◀ または ▶▶ を押すと、本機はサーチモードに入ります。
2. [スキャン/スロー] ◀◀ または ▶▶ を繰り返す押すと早送り/早戻し速度が変化します。

遅い＞＞＞＞速い

早送り 1▶▶ 2▶▶ 3▶▶ 4▶▶→▶
早戻し 1◀◀ 2◀◀ 3◀◀ 4◀◀→▶

3. 本体の ◀ または ▶ を押すと、リモコンの [スキャン/ スロー] ◀◀ または ▶▶ を押した場合と同じ動作をします。
4. サーチモードを終了するには、下記のボタンを押します。
   リモコン : 再生
   本体 : 再生または決定

メモ:

- サーチモード時、音声は出力されません。
- サーチ速度は再生しているディスクによって異なります。

スロー再生 DVD-V DVD-RW

1. 再生中に[一時停止](II)を押します。
   プレーヤーが一時停止モードになります。

2. 次のように[スキャン/スロー] ◀◀ または ▶▶ を押して、お好みの速さを選択します。

速い＞＞＞＞遅い

スロー前進	1 I▶	2 I▶	3 I▶	4 I▶	→ ▶
スロー後退	1 ◀I	2 ◀I	3 ◀I	4 ◀I	→ ▶

3. スロー再生モードを終了するには、[再生]を押します。

スクリーンセーバー

停止した状態で15分経つとスクリーンセーバーが表示されます。スクリーンセーバーが表示されてからさらに15分間経つと自動的に電源がオフします。

VR モードで記録されたディスクの再生 DVD-RW

-VRモードで記録されたディスク(DVD-RW/DVD-R)を再生できます。

- 本機にセットされたディスクにプレイリストが記録されている時は、プレイリストが再生されます。
- 本機にセットされたディスクにプレイリストが記録されていない時は、オリジナルが再生されます。
- プレイリストとオリジナルを切り替えるには、停止時に[トップメニュー]を押します。停止時に[トップメニュー]を1回押すと現在のモードを表示します。プレイリストとオリジナルを切り替えるには[トップメニュー]を繰り返し押します。
- 再生時、現在のモードを知るにはリモコンの[再生設定]ボタンを押します。再生設定画面の「タイトル」に「プレイリスト」または「オリジナル」が表示されます。

メモ:

- つづき再生停止時(29 ページ)にはプレイリストとオリジナルの切り替えはできません。[停止]ボタンを2回押してから[トップメニュー]を押して切り替えてください。
- 停止時、プレイリストが記録されていないディスクで[トップメニュー]を押すと禁止マークが表示されます。

ご注意:

- 他のDVD製品で記録されたDVD-RW/DVD-R (VR モード)ディスクを再生するには、ファイナライズをする必要があります。ファイナライズがされていないDVD-RW /DVD-R (VR モード)ディスクの再生はできません。
  ファイナライズについては、ディスクを記録した機器の取扱い説明書を参照してください。
- DVD-RW/DVD-R(VRモード)の場合、ディスクに記録された内容によっては、ディスクをセットしてから再生が開始されるまでに時間がかかることがあります。

再生設定画面

現在の再生状態を液晶画面に表示します。
一部の項目については、リモコンを使用して変更できます。

再生設定画面を使用するには：

1. 再生中に本体の[DISPLAY]またはリモコンの[再生設定]を押します。
2. ↑/↓ を押して項目を選択します。
   選択した項目がハイライトされます。
3. [決定] を押してサブメニューにアクセスします。↑/↓ と [決定] を押して設定を実行します。また、該当する場合 (タイトル番号の入力など) は、数字ボタンを使います。

例：DVD ビデオを再生中の再生設定画面

再生設定画面で表示される項目：

1. タイトル
2. チャプター
3. 音声
4. 字幕言語
5. アングル
6. タイトル時間
7. チャプター時間
8. リピート
9. 時間表示

メモ：

- VRモードディスクを再生している時はプレイリストまたはオリジナルがタイトル番号表示の隣に表示されます。
- 再生、一時停止、サーチ、またはスロー再生では、それぞれに対応するアイコンが表示メニューの左上隅に表示されます。
- ディスクによっては、次ページに示す機能のいくつかは使用できない場合があります。
- 再生時に、再生設定画面の項目を変更できます。
  ただし、変更できる項目は再生しているディスクによります。
- 再生設定画面を終了するには、[再生設定] または [リターン] を押します。
- タイトル、チャプター、タイトル時間、チャプター時間、およびアングルの項目を変更するには、リモコンの数字ボタンを使用してください。
- 「時間表示」の初期値は「タイトル経過時間」です。
  「時間表示」の他の項目を選択し、再生設定画面を終了しても、再度、再生設定画面を表示した時は「タイトル経過時間」が表示されます。

トップメニュー DVD-V

DVDには、複数の映像や曲が記録されたものがあります。これらの映像や曲をタイトルといいます。複数のタイトルがあるDVDを再生するときは、トップメニューで好きなタイトルを選べます。
トップメニューを使用するには[トップメニュー]を押し、対応する番号をリモコンの数字ボタンで入力するか、←/↑/↓/→ ボタンを使用して希望するタイトルを選択し、[決定]を押します。

メニュー DVD-V

DVDには、ディスクの内容をメニューで選択できるものがあります。このようなDVDを再生するときは、再生したい項目、表示したい字幕の言語、聞きたい音声の言語などをメニューで選べます。
メニューを使用するには[メニュー]を押し、対応する番号をリモコンの数字ボタンで入力するか、←/↑/↓/→ ボタンを使用して希望する項目を選択し、[決定]を押します。

別のタイトル に移動する DVD-V DVD-RW

ディスクに複数のタイトルがある場合は、別のタイトルに移動できます。

1. 再生中に [再生設定] を押します。
2. ↑/↓を押してタイトル項目を選択し、[決定] を押します。
3. 数字ボタンを押して、タイトル番号を入力します。

別のチャプターに移動する DVD-V DVD-RW

ディスクのタイトルに複数のチャプターがある場合は、以下の操作により他のチャプターに移動できます。

1. 再生中に[再生設定]を押します。
2. ↑/↓ を押してチャプター項目を選択し、[決定]を押します。
3. 数字ボタンを押して、チャプター番号を入力し、[決定]ボタンを押します。

- 再生中に [前 ⏮] / [次 ⏭] を押すと、現在のチャプターの先頭に戻る、または次のチャプターを選択できます。
- 前のチャプターに戻るには、[前 ⏮] を続けて2回押します。

メモ:

- DVD再生時、リモコンの数字ボタンを押すと「ダイレクトサーチ ウィンドウ」が表示されます。
- 数字ボタンで希望のチャプター番号を入力し「決定]ボタンを押してください。
- また、「ダイレクトサーチ ウィンドウ」が表示された時、[←]ボタンを押すとタイトル選択モードに切換わります。
- なお、この「ダイレクトサーチ ウィンドウ」はVRモードのディスクでは働きません。

タイムサーチ DVD-V

再生設定画面を使用して、希望の時間から再生を開始することができます。

1. 再生中に [再生設定] を押します。
2. ↑/↓ を押して タイトル 時間項目または チャプター 時間項目を選択し、[決定] を押します。「0:00:00」が表示されます。
3. 数字ボタンを使用して必要な開始時間を左から右に時間、分、秒の順に入力します。
4. 選択した時間から再生が開始されます。

ご注意

VRモードのディスクを再生時、チャプター時間は表示されません。チャプター時間には、「- -:- -:- -」が表示されます。

メモ:

リモコンを使用してタイムサーチを行なってください。
DVDディスクによっては、タイムサーチが行なえないディスクがあります。

音声 DVD-V DVD-RW

複数の音声言語が記録されているディスクでは、リモコンの[音声]を押すことで再生する音声言語を変更できます。
また、再生設定画面でも音声言語を切り替えることができます。

ご注意

ディスクによっては再生時の音声言語の変更が行なえないディスクがあります。この場合はディスクの取扱説明書を参照してください。

字幕言語 DVD-V DVD-RW

字幕を設定メニューで選択した言語から別の言語に変更することができます。(詳しくは、43 ページをご参照ください。) この操作は、複数の字幕言語が記録されているディスクでのみ機能します。

1. 再生中に [再生設定] を押します。
2. ↑/↓ を押してディスク字幕項目を選択し、「決定」を押します。
3. 希望する字幕が選択されるまで ↑/↓ を繰り返し押します。希望する字幕が選択されたら、[決定]を押します。

カメラアングル DVD-V

複数のカメラアングルで記録されたディスクを再生している時は、再生中に別のカメラアングルに切り替えることができます。

1. 再生中に [アングル] を押します。
2. 希望するアングルが選択されるまで [アングル] を繰り返し押します。

メモ:

- スロー再生およびサーチモード中はアングルを変更することはできません。
- アングルマークのアイコンは設定メニューのアングルマークオプションがオンの場合のみのときに液晶画面に表示されます。
- アングルの変更にはリモコンを使用してください。

リピート DVD-V

リモコンの[くり返し]ボタンを押すと、液晶画面に現在選択されたリピートモードが表示されます。

DVD ビデオ

- チャプター:現在のチャプターをリピートします。
- タイトル:現在のタイトルをリピートします。
- ディスク:ディスクをリピートします。
- オフ:リピートしません。

メモ:

ディスクによっては、リピート再生が行なえないことがあります。

A-B リピート DVD-V

任意の区間をリピート再生することができます。

1. 再生中に、[A-B] を押して開始点を選択します。
   "⊂→ A" が画面に表示されます。
2. [A-B] をもう一度押して、終了点を選択します。
   "⊂→A B" が画面に表示され、A-Bリピートが開始されます。
3. A-Bリピートを終了するには、[A-B] をもう一度押します。

メモ:

- A-B リピートは、1 つのタイトル内でのみ使用できます。
- A-B リピートは次の再生モードで設定することができます。
  再生、一時停止、スローF/R、FF1、FR1

時間表示 DVD-V DVD-RW

ディスク再生中の時間表示項目を変更するには:

1. 再生中に [再生設定] を押します。
2. ↑と↓ボタンで時間表示を選択し、[決定] を押します。
3. ↑と↓ボタンを使用して、以下の時間表示項目を選択して、[決定] を押します。
   タイトル経過時間、タイトル残時間、チャプター経過時間、チャプター残時間。

ご注意:

VRモードディスク再生時にはチャプター経過時間とチャプター残時間は表示されません。

メモ:

- 「時間表示」の初期値は「タイトル経過時間」です。
- 「時間表示」の他の項目を選択し、再生設定画面を終了しても、再度、再生設定画面を表示した時は「タイトル経過時間」が表示されます。

オーディオCDおよびMP3ディスクを再生する

本機ではMP3(MPEG-1 Audio LayerⅢ)やJPEG で記録されたデータCD(CD-ROM/CD-R/CD-RW)やデータDVD(DVD+RW/DVD+R/DVD-RW/DVD-R)を再生することができます。
ただし再生できるのは ISO9660 の Joliet 準拠で記録されたデータディスク に限られます。記録方式について詳しくは、ディスクドライブまたはディスクの書込みに使用したソフトウェアの取扱い説明書をご覧ください。

オーディオ CD CD

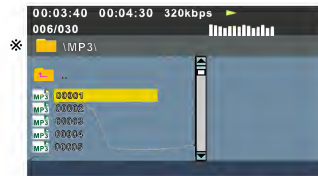
オーディオ CD を本機にセットすると、トラック番号と経過時間が液晶画面に表示されます。再生中に [前 ⏮] / [次 ⏭]を押すと、現在再生中のトラックの先頭に戻る、または次のトラックの先頭から再生を開始します。前のトラックに戻るには、[前 ⏮] を 2 回押します。

メモ:

CD 再生中に [再生設定] を押すと、トラック経過時間、トラック残時間、ディスク経過時間、ディスク残時間、表示オフの順に液晶画面に表示されます。

MP3 MP3

1. ↑/↓を押してフォルダを選択し、[決定] を押してフォルダの内容を表示します。
2. ↑/↓を押してファイルを選択し、[再生] または [決定] を押します。再生が開始されます。

※

※ 現在のフォルダの名前がここに表示されます。
フォルダのパス表示は「\..\」で表示されます。

ヒント:

- 一階層上位のフォルダに戻るには、↑/↓を使って..をハイライトし、[決定] を押します。
- [前 ⏮]/[次 ⏭]ボタンを押とファイルリストの前のページまたは次のページに移動できます。

オーディオ CD および MP3 ディスクの機能

一時停止 CD MP3

再生中に [一時停止] を押します。

一時停止モードを終了するには、[再生]または[一時停止]を押します。

停止 CD MP3

CD再生中に [停止] を押すと、液晶画面に「リジューム」が表示されます。リジュームされたところから再生を開始するには、「再生」を押します。
MP3を再生中に[停止]を押すと、液晶画面の[►]は[■]に変わります。
MP3では、「再生」または「決定」が押された時に選択されたファイルの再生が開始されます。

別のトラックに移動する CD MP3

前のトラックまたは次のトラックに移動するには、再生中に[前/次] (⏮ / ⏭) を押します。

サーチ CD MP3

1. 再生中に [スキャン/スロー] (◄◄ / ►►) を押すと、本機はサーチモードに入ります。
2. [スキャン/スロー](◄◄ / ►►) 繰り返し押すと早送り/早戻し速度が変化します。
3. サーチモードを終了するには、[再生] を押します。

リピート CD MP3

ディスクを再生する時に [くり返し] ボタンを押します。
[くり返し]ボタンを繰り返し押して、希望するリピートモードを選択します。

- **CD**

  トラック : 現在のトラックをリピートします。
  ディスク : ディスクの全トラックをリピートします。
  オフ : 通常の再生に戻ります。

- **MP3**

  リピートワン : 現在のファイルをリピートします。
  リピートフォルダ : 現在のフォルダに含まれるファイルをリピートします。
  オフ:通常の再生に戻ります。

A-B リピート CD MP3

1. ディスクを再生中に、お好きな区間をリピートするには、開始点で [A-B] ボタンを押します。液晶画面にリピートアイコン "⊂A" が表示されます。

2. [A-B] ボタンをもう一度押して、終了点を選択します。液晶画面にリピートアイコン "⊂A-B" が表示され、選択された区間がリピート再生されます。

3. A-Bリピートを終了して通常の再生に戻るには、[A-B] ボタンを再び押します。液晶画面からリピートアイコンが消えます。

再生可能なデータCD、データDVD

以下の仕様のMP3ファイルが本機で再生できます。

- サンプリング周波数:11-48 kHz 以内 (MP3)
- ビットレート:32-320 kbps 以内 (MP3)
- " .mp3 " 拡張子をもった、MP3形式のファイル
- 物理フォーマットが ISO9660 の Joliet 準拠で記録されたディスク

- 本機ではパケットライト方式で作成されたデータCD/ データDVD を再生できないことがあります。
- ファイル名は最長で 14 文字とし、.mp3 拡張子を持たなければなりません。
- ファイル名には / ? *:" < > | などの特殊文字を含めることはできません。
- 漢字やひらがな、カタカナなど日本語のファイル名は表示できません。表示できない文字は * で表示されます。
- ディスクによっては、表示できないファイル名の文字を*で表示します。

- 認識できるディスクの合計ファイル数は約 648 です。
- 認識できるディスクの合計フォルダ数は約 299 です。

メモ:

- VBRモードで記録された MP3 を再生した時、正しいビットレートを表示できません。
  また、VBRモードで記録された MP3 を再生した時、タイムサーチ動作も正しく行なえません。
- ディスクの書込み条件によって、認識できるファイルとフォルダの合計数が648よりも少ないことがあります。
- 本機はMPEG1のレイヤー１及びレイヤー２形式には対応していません。
  それらの形式のファイルを再生すると雑音が出力されますのでご注意ください。

オーディオCDおよびMP3ディスクを再生する(続き)

• CD 再生時のご注意
本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。

• マルチセッションで記録されたディスクを正しく再生できないことがあります。

プログラム再生

ディスクのお好みのトラックを好きな順番で再生することができます。

プログラム再生 CD

1. ディスクをいれます。
2. 「プログラム」を押すと、プログラムリストが画面に表示されます。
3. 数字ボタンを使用して、プログラムするトラック番号を入力します。
4. 「決定」ボタンを押して、決定します。

プログラムリスト

5. 手順 3 ～ 4 を繰り返してトラック番号を入力します。

プログラム再生(続き)

6. ▲ / ▼ で「開始」を選択します。トラックをプログラムした順番で、再生が開始されます。「プログラムリスト」のすべてのトラックが1回再生されると、再生は停止します。
   プログラムリストのファイルをすべて消去するには、▲ / ▼ で「全消去」を選択します。
   プログラム再生を終了するには、▲ / ▼ で「終了」を選択します。

メモ:

- プログラムできる最大トラック数は 20 です。
- プログラムリストが表示されている時は、CDの操作はできません。

ランダム 再生

ランダム 再生 CD MP3

トラックをランダムに再生できます。

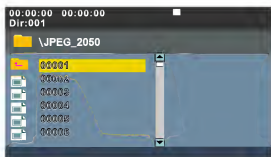
1. 再生中に「ランダム」を押します。
   ランダム再生が開始され、液晶画面に「ランダム」が表示されます。
2. 通常の再生に戻るには「ランダム」を再び押します。

メモ:

- ランダム再生はDVDでは動作しません。
- 特定のディスクでランダム再生が行なえないことがあります。
- ランダム再生中に ⏮ ボタンを続けて2回、または ⏭ ボタンを押すと、DVDプレーヤーは別のトラックにランダムに移動して再生を開始します。
- ランダム再生中に同じトラックが複数回再生される場合があります。

JPEG画像ファイルの表示

本機ではMP3(MPEG-1 Audio LayerⅢ)やJPEG で記録されたデータCD(CD-ROM/CD-R/CD-RW)やデータDVD(DVD+RW/DVD+R/DVD-RW/DVD-R)を再生することができます。ただし再生できるのは ISO9660 の Joliet 準拠で記録されたデータディスクに限られます。記録方式について詳しくは、ディスクドライブまたは書込みに使用されたソフトウェアの取扱い説明書をご覧ください。

1. 本機にディスクをセットし、ディスクぶたを閉じます。ディスク情報を読取ると液晶画面にファイルメニューが表示されます。

2. ↑/↓を押してフォルダを選択し、[決定] を押します。フォルダ内にあるファイルリストが表示されます。ファイルリストが表示されており、前のフォルダリストに戻りたい場合は、リモコンの↑/↓ ボタンを使って ..を選択し、[決定] を押します。
3. 特定のファイルを表示したい場合は、↑/↓を押してファイルを選択し、[決定] または [再生] を押します。ファイルの表示が開始されます。
4. 前のファイルに戻るまたは次のファイルに移動するには、画像を表示中に [前]/[次] (⏮ または ⏭) を 1 回押します。
5. ファイルを表示中に [停止] を押すと、ファイルリストを表示します。

サムネイルモード JPEG

ファイルを表示中に、[メニュー] を押します。サムネイルが次のように表示されます。

1. フルスクリーン画像を表示するには、↑/↓/←/→ を使用して画像を選択して[決定]または[再生]を押します。
2. スライドショーを開始するには、↑/↓/←/→ を使用して[Slide Show]を選択して[決定]を押します。
   スライドショーを終了するには 、[停止] または[メニュー]を押します。
3. 画面で [Help] を選択すると [リモコンキー機能] が表示されます。
4. サムネイル表示で前のページまたは次のページに移動するには、画面の [◄ Prev] / [Next ►] を選択します。
5. サムネイル表示を終了するには、[メニュー] を押します。

スライドショーの [一時停止] JPEG

1. スライドショーの途中で [一時停止] を押します。本機は一時停止モードになります。
2. スライドショーに戻るには、[再生] を押すか、[一時停止] を再び押します。

画像を回転するには JPEG

画像を左右に反転するには [↓] を押し、上下に反転するには [↑] を押します。画像を反時計回りおよび時計回りに 90 度ずつ回転するには、[←] または [→] を押します。

メモ:

- ディスクに記録されたJPEGファイルの数やサイズにより読込みに時間がかかる場合があります。
  数分間、経過しても写真が表示されない場合は、一部のファイルが大きすぎる可能性があります。
  表示するJPEGファイルの解像度は6Mピクセル以下をお勧めします。(プログレッシブJPEGファイルは2.4Mピクセル以下をお勧めします。)

以下の仕様のJPEGファイルが本機で再生できます。

- 認識できるファイルとフォルダの合計数は約 648 です。
- 認識できるディスクの合計フォルダ数は約 299 です。
- 「.jpg」拡張子をもった、JPEG形式のファイル。
- ファイルの拡張子が「.jpe」または「.jpeg」の場合は、「.jpg」に名前を変更してください。
- KODAK ERI JPEG形式のファイルはサポートされていません。
- ディスクの書込み条件によって、認識できるファイルとフォルダの合計数が 648 よりも少ないことがあります。
- 物理フォーマットが ISO9660 の Joliet 準拠で記録されたディスク。
- 漢字やひらがな、カタカナなど日本語のファイル名は表示できません。表示できない文字は * で表示されます。
- ディスクによっては、表示できないファイル名の文字を * で表示します。

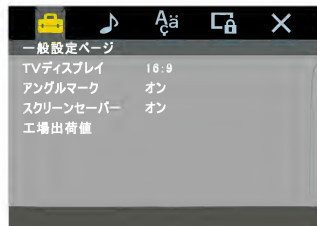
設定メニューを使用すると、画像やサウンドなどにさまざまな調整を行うことができます。また、字幕や設定メニューの言語を設定することもできます。設定メニューの各項目の詳細は、42~45ページをご参照ください。

設定メニューを表示および終了するには：

設定メニューを表示するには、[設定] を押します。[設定] を 2 回押すと終了します。

基本操作

1. [設定] を押します。設定メニューが表示されます。
2. [←]/[→]を使って希望する項目を選択し、[↓]を押して第2階層に移動します。選択した項目の現在の設定と、選択可能な設定が画面に表示されます。
3. [↑]/[↓]を使って希望する第二項目を選択し、[→]を押して第3階層に移動するか、[←]を押して最初のレベルに移動します。
4. [↑]/[↓]を使って希望する設定を選択し、[決定] を押して選択内容を確定します。一部の項目には追加の手順があります。
5. 設定メニューを終了するには、「設定」または「リターン」を押すか、設定操作の終了を選択します。

一般設定

TV ディスプレイ DVD-V DVD-RW

本機に接続したTVに対応して画像のサイズを選択します。表示可能な画像のサイズは各DVDビデオによって異なります。従って、DVDビデオの再生画像によっては選択した画像サイズに一致しない場合があります。

初期値は 16:9 です。

4:3 PS (パンスキャン):

標準 4:3 TVの画像サイズを選択します。画面全体を使って自動的にワイド画像を表示し、画面に入らない部分は切り取られます。

4:3 LB (レターボックス):

標準 4:3 TVの画像サイズを選択します。画面の上下に帯のあるワイド画像を表示します。

16:9:

16:9 のワイドテレビに接続している場合は、これを選択します。

アングル・マーク DVD-V

アングルが記録されたDVDディスクを再生時、アングル変更が可能な時に液晶画面にアングルマークを表示する(オン)か、しないか(オフ)を設定します。
初期値はオンです。

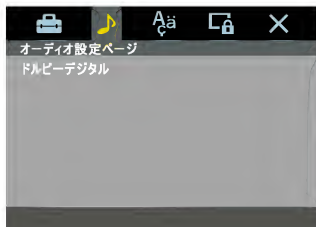
スクリーンセーバー

オンに設定されていると、停止した状態で15分経つと画面表示がスクリーンセーバーに切り替わります。
初期値はオンです。

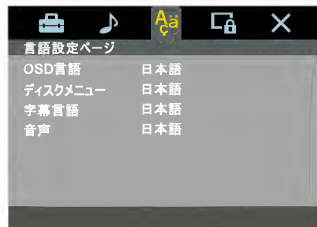
工場出荷値

この工場出荷値を選択/実行すると、各設定値は工場出荷時の初期値に戻ります。

[リセット]を選択して[決定]を押します。リセット処理が実行し、設定メニューが終了します。

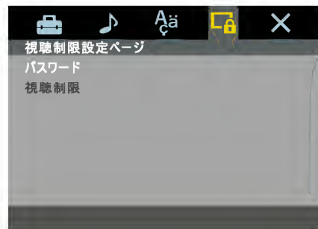
オーディオ設定

DRC (Dynamic Range Control) DVD-V

DVDに記録された大きな音を調整し、平均的な大きさの音量にします。
DRC機能のあるDVDを再生しているときのみ効果があります。

言語設定

OSD 言語

画面に表示される言語を選択します。
初期値は日本語です。

ディスクメニュー/字幕言語/音声 DVD-V

DVDディスクに記録されたディスクメニュー、字幕言語、音声を選択します。
初期値は全て日本語です。

視聴制限設定

パスワード

パスワードの入力や変更ができます。
パスワードの初期値は「136900」です。

1. 視聴制限設定で「パスワード」を選択して、「変更」が選択されたら[決定]を押します。
2. パスワードを変更するには、現在の6桁のパスワードを「旧パスワード」ボックスに入力し、新しいパスワードを「新パスワード」ボックスに入力します。新しいパスワードを「パスワード確認」ボックスにもう1度入力して「決定」を押します。

メモ:

パスワードを最初に使用する時は、新しいパスワードを入力してください。

パスワードを忘れてしまったら

パスワードを忘れてしまった場合は、次の手順によりパスワードを消去できます。

1. 左で説明したパスワード入力の手順1を行います。
2. 「旧パスワード」に6桁の番号「136900」を入力します。
3. 手順2の新しいパスワードの説明に従って、新しいパスワードを入力します。

視聴制限 DVD-V

一部のDVDビデオにはレベル(見る人の年齢など)によって視聴を制限できるものがあります。

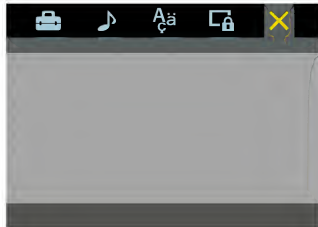
視聴制限機能を使用すると、入力したレベルより下のディスクを再生するにはパスワードの入力が必要になります。

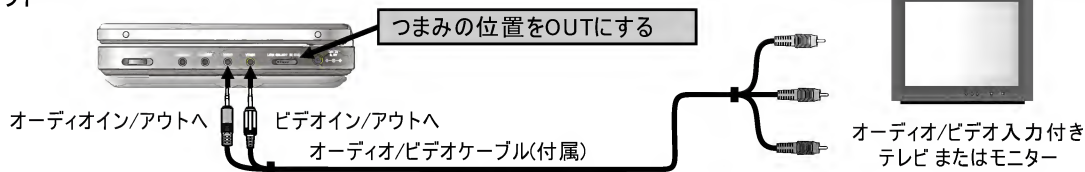
1. 視聴制限設定ページで「視聴制限」を選択して、「決定」を押します。
2. 視聴制限のレベルを変更するには、設定したパスワードを入力する必要があります。
   パスワードが設定されていない時、視聴制限のレベルの変更はできませんので、先にパスワードの設定を行なってください。
   パスワードを入力し、「決定」を押します。「決定」を押す前にパスワードを間違えた場合は、「クリア」を押します。

3. [↑]/[↓] ボタンを使って、視聴制限のレベルの 1 から 8 を選択します。

   視聴制限のレベルの 1-8:
   視聴制限のレベルの (1) は最も制限が厳しく、視聴制限のレベルの (8) は制限が最も少なくなります。

4. [決定] を押して視聴制限レベルを確定し、[設定] を押してメニューを終了します。

設定の終了

設定メニューを終了するには、「設定操作の終了」を選択します。
また、[設定]もしくは[リターン]を押しても終了することができます。

映像/音声コードをつなぐ

メモ:

- 接続する機器の取扱説明書も参照してください。
- 本機と各機器を接続する前に、必ず両方の装置の電源を切り、電源コンセントから両機器の電源プラグを外してください。
- 本機とビデオデッキを接続しないでください。ビデオデッキを経由して本機の映像をテレビに映すと、画像が乱れることがあります。
- 本機でディスクを再生する時は必ず「ライン入力/ライン出力」を「OUT」に切り替えてください。

ライン入力/ライン出力の切り替え

ライン入力: 外部機器から映像/音声信号を入力し、本機で画面表示/音声出力します。
外部機器から信号が入力されるまで「Line In」が液晶画面に表示されます。

ライン出力: 本機の再生信号をテレビ等に出力します。

カーアダプターで本機を使用するには

付属のカーアダプター (DCC-FX110) を使って、シガレットライター・ソケットから本機に電源を供給できます。このアダプターは12Vバッテリー車専用です。24Vバッテリー車では使用しないでください。

付属のカーアダプター(DCC-FX110)とシガーライターソケットの接続

メモ:

- 運転者の邪魔にならないようにコードを配置してください。
- カーアダプターで本機を使用し、電源をオフする時は、必ず本機の電源スイッチで電源をオフしてください。
  本機の電源が入った状態で自動車のイグニッションキーをオフすると本機への電源供給が停止し、故障の原因となることがあります。
- 運転者から見える場所にモニターを設置しないでください。
- 画像が乱れる場合は、カーアダプターを本機から離してください。
- 当カーアダプターがギヤ操作等の運転操作と干渉する恐れがあるときは、市販のシガーライターソケットの延長コードの使用をおすすめします。
- 使用後はカーアダプターをシガレットライターソケットから取り外してください。
  接続する自動車によっては、イグニッションキーをオフしても、シガレットライターに電源を供給していることがあるため、自動車のバッテリーが放電してしまう恐れがあります。

その他

- このカーアダプターは、12Vのバッテリーを使用している自動車専用です。
  24Vのバッテリーを使用している自動車には使用しないでください。
- アースがマイナスの自動車や、プラスの自動車があります。
  このカーアダプターは、アースがマイナスの自動車専用です。
- 本製品は自動車のエンジンをかけた状態で使用してください。
  自動車のエンジンを止めた状態で本製品を使用すると、自動車のバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 使用していない場合は、カーバッテリー・コードをシガレットライター・ソケットから抜いてください。コードを取り外す場合は、プラグをつかんで抜いてください。コード自体を引っ張らないでください。
- カーアダプターを落としたり、損傷した場合は、使用しないでください。
- 金属の物体で決してカーアダプターの金属部分に触れないでください。これを行うと、ショートして、カーアダプターが損傷する場合があります。
- 自動車のシガレットライター・ソケットが灰などで汚れていると、接続不良のためにプラグの部分が熱を持ちます。必ず清掃してから使用してください。
- 製品を分解または改造しないでください。
- 製品に衝撃を与えたり、落さないでください。
- 充電中または長時間使用すると熱を持つことがあります。
  これは故障ではありません。
- カーラジオを聞いている間は、雑音の発生を避けるために、カーバッテリー・コードをシガレットライター・ソケットから抜いておくか、ラジオを本製品から離しておいてください。
- 振動がある場所には置かないでください。
- 直射日光の当たる場所、ダッシュボード、ヒーターの熱風が当たる場所、高温になる場所などには製品を置かないでください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
電源が入らない。	• 電源コードが外れている。	• 電源コードを電源コンセントにしっかりと差し込みます。
	• バッテリーが放電してしまった。	• バッテリーを充電します。
液晶画面や接続したテレビに画像が表示されない。	• ビデオケーブルがしっかりと接続されていない。	• ビデオケーブルをジャックにしっかりと接続します。
	• 液晶モードが [オフ] に設定されている。	• 液晶モードを [オフ] 以外に設定します。
	• 明るさが最小に設定されている。	• LCD MODE から明るさを調整します。
	• 接続したテレビの入力切替えの選択が適正でない。	• 接続したテレビの入力切替えを変更して本機から出力される画像が表示されるようにする。
	• ライン入力/出力がIN側を選択している。	• ライン入力/出力をOUT側にする。
音が出ない。	• 接続したオーディオ機器の入力切替えの選択が適正でない。	• 接続したオーディオ機器の入力切替えを変更して本機から出力される音声が出力されるようにする。
	• オーディオケーブルがしっかりと接続されていない。	• オーディオケーブルをジャックにしっかりと接続します。
本機の再生が始まらない。	• 再生できないディスクを入れています。	• 再生可能なディスクをいれてください。(ディスクタイプ、カラーシステム、地域コードを確認してください。)
	• 視聴制限が設定されています。	• 視聴制限を取り消すか、視聴制限レベルを変更してください。
操作ボタンを押しても、応答がない。	• ホールドが設定されています。	• 本体のホールドつまみを右にスライドしてホールドを解除します。
リモコンが正常に動作しない。	• リモコンが本機から離れています。	• リモコンをリモコン受光部に向け、本機を適切な距離内で操作してください。
	• リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たっています。	• 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにする。
	• 電池が消耗しています。	• リモコンの電池をすべて新しいものと交換してください。
	• リモコンの信号が本機に届いていません。	• リモコンと本機の間の障害物を取り除きます。

保証書とアフターサービス

■ 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

症状が改善されないときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、CD/DVDプレーヤーの補修用性能部品（製品に機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上回収させていただきますので、お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

ご相談になるときは次のことをお知らせください

- 型名：DVP-FX810
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 故障していたときに再生していたディスク：
  「再生できるディスクについて」（10~11ページ）を参照してください。
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

今後とも、ソニー製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

主な仕様

システム

形式: CD/DVDプレーヤー
信号方式: JEITA標準、NTSCカラー方式

音声特性

周波数特性: DVD(PCM 96 kHz再生時) 20Hz〜44kHz
DVD(PCM 48 kHz再生時) 20Hz〜20kHz
信号対雑音比(S/N比): 90 dB以上
全高調波ひずみ率: 0.008 %
ダイナミックレンジ: DVD:95 dB以上

電源、その他

電源: DC 9.5V(ACアダプター/カーアダプター)
DC 7.5V(充電池)
消費電力:23 W
(充電池装着、液晶画面オンでDVDビデオ再生時)
最大外形寸法: 226×32.4×160 mm
(幅／厚さ／奥行き、最大突起部を含む)
質量: 約1020g(充電池を含まず)
許容動作温度:5〜35℃
許容動作湿度:5〜80 %
ACアダプター:AC100-240V, 50/60Hz
カーアダプター:DC12V

入出力端子

(端子名:端子形状/入出力レベル/インピーダンス)
ビデオ入力: ミニジャック/1.0V(p-p)/75Ω同期負
ビデオ出力: ミニジャック/1.0V(p-p)/75Ω同期負
オーディオ入力:
ステレオミニジャック/2Vrms(1kHz, 0dB)/10kΩ以上
オーディオ出力:
ステレオミニジャック/2Vrms(1kHz, 0dB)/50kΩ
ヘッドフォン出力:
ステレオミニジャック X2 /5mW + 5mW/16Ω

液晶画面

パネルサイズ:
幅8インチ(対角)
駆動方式:
TFTアクティブ・マトリックス
解像度:
480 x 220
(有効ピクセル率:99.99%)

付属品

17ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　●http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「よくあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

●ナビダイヤル ……………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
●携帯電話・PHSでのご利用は ……………… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
●FAX ……………… 0466-31-2595
受付時間：月~金曜日　9:00~20:00　土・日・祝日　9:00~17:00

お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号をおしてください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦お願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙と
VOC（揮発性有機化合物）ゼロ
植物油型インキを使用しています。

Sony Corporation　Printed in China